

食品にかかわる分野では、代替法の認知度は低く、その開発も積極的に進められていないのが現状です。食品は生きていく上で必要不可欠なものであり、口から直接体内に入ってくるもののため安全性評価は厳しく行われなければなりません。また、健康増進や食事による疾病予防



桐生大学医療保健学部栄養学助手 石塚典子

動物実験 代替法の展開

・治療のために食品中の成分の機能性の解明が強く望まれていること等もその一因と考えられます。

また、食品添加物や残留農薬のよう本来食品中に含まれていない物質についてもその摂取

⑥ 食と健康を考える立場から

極端に偏った食べ方をしない限り通常の食事の中で特定の成分を過剰に摂取してしまうことは、あまりありません。しかし、健康食品等には特定の成分を抽出し、高濃度に濃縮されているものもあり、簡単に大量摂取が可能となるため、過剰摂取による人体への悪影響が懸念されます。

高まりに後押しされて、新たな機能性成分の研究は積極的に行われており、その有効性を示すための科学的根拠として動物を用いた実験から得られた成果が重要視されています。例えば、特定保健用食品の認可のために

ヒトの健康増進や食の安心・安全のために動物実験の意義は大きく、特に安全性試験に

高まりに後押しされて、新たな機能性成分の研究は積極的に行われており、その有効性を示すための科学的根拠として動物を用いた実験から得られた成果が重要視されています。例えば、特定保健用食品の認可のために

ヒトの健康増進や食の安心・安全のために動物実験の意義は大きく、特に安全性試験に

要不要を見直す余地あり

分を過剰に摂取してしまうことによる健康被害が危ぶまれます。健康食品等には特定の成分を抽出し、高濃度に濃縮されているものもあり、簡単に大量摂取が可能となるため、過剰摂取による人体への悪影響が懸念されます。

さらに世間一般の健康意識の確かな製品の過剰な流通を防ぐこと団体の要請を受け入れて、法律

「忙しいから」「手間がかかるから」と日々の食事をないがしろにして手軽な健康食品に頼る人は少なくありません。食品に対しても感謝の気持ちを

「忙しいから」「手間がかかるから」と日々の食事をないがしろにして手軽な健康食品に頼る人は少なくありません。食品に対しても感謝の気持ちを

法に適合するよう、消費者の安全を守り、効果の不明確な製品の過剰な流通を防ぐこと団体の要請を受け入れて、法律